

管理職

- ・学校いじめ防止基本方針
- ・いじめを許さない姿勢
- ・風通しのよい職場環境
- ・保護者・地域との連携

いじめ対応チーム

構成員

校長、教頭、生徒指導部長、保健部長、
学年主任、学年生徒指導係、養護教諭 等

キャンパスカウンセラー、青少年育成センター 等

- ・学校いじめ防止基本方針の見直し、改善
- ・年間指導計画の作成、実施、改善
- ・校内研修会の企画・実施
- ・アンケート結果、報告等情報の整理・分析
- ・いじめが疑われる案件の事実確認・判断
- ・要配慮生徒への支援方針

いじめ対策委員会

いじめ認知→早期解決

未然防止

- 学習指導の充実
 - ・学習における規律作り
 - ・学びに向かう集団づくり
 - ・意欲的に取り組む授業研究
- 特別活動の充実
 - ・ホームルーム活動の充実
 - ・ボランティア活動への積極的参加
- 教育相談の充実
 - ・面談の定期開催
 - ・キャンパスカウンセラーの活用
- 人権教育の充実
 - ・人権意識の高揚・実践
- 情報教育の充実
 - ・情報モラルの指導の充実
(SNS の使い方)
 - ・ネット犯罪防止講演会の開催
- 保護者・地域との連携
 - ・学校いじめ防止基本方針等の周知
 - ・学校公開・公開授業の実施
 - ・地域行事への積極的参加
 - ・地域生徒指導連絡協議会への参加

早期発見

- 情報の収集
 - ・教員の観察による気付き
 - ・養護教諭からの情報
 - ・生徒・保護者・地域からの情報
 - ・登下校時の通学指導
 - ・昼休みの巡回指導
 - ・アンケートの実施
 - ・定期的な面談における情報収集
(生徒・保護者)
- 相談体制の確立
 - ・相談窓口の設置・周知
 - ・キャンパスカウンセラーの活用
- 情報の共有
 - ・報告の徹底
 - ・職員の情報共有
(職員会議・ケース会議等)
- ・要配慮生徒の実態把握
- ・次年度への申し送り事項の徹底

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 班にすると机と机の間に隙間がある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう生徒がいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある
- 授業中、教職員に見えないように消しゴム投げや手紙を渡したりしている
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の生徒が残る
- 特定の生徒に気を遣っている雰囲気がある

いじめられている生徒

◎日常の行動・表情の様子

- 活気はなくおどおどし、話す時不安な表情をする
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 早退や一人で下校することが増える
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- 忘れ物が多くなったり、提出期限が守れなくなる
- 常に周囲の行動を気にし、目立たないようにする
- 悪口を言われても言い返さず、愛想笑いをする
- わざとらしくはしゃいでいる
- 顔色が悪く、元気がなく暗い表情になる
- 遅刻・欠席が多くなる
- ときどき涙ぐんでいる
- 周囲が何となくざわついている
- 発言を強要され、突然個人名が出される
- にやにや、にたにたしている

◎授業中・休み時間

- 発言すると冷やかされたり、周囲がざわつく
- 班編成の時に孤立しがちである
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 決められた座席と違う場所に座っている
- 遊びだと友人とふざけているが、表情がさえない
- 一人でいることが多い
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 教職員の近くにいたがる
- ひどいアダ名で呼ばれる
- 不まじめな態度、ふざけた質問をする

◎昼食時

- 好きな物を他の生徒にあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかつたりする
- 弁当を一人で食べることが多い
- 他の生徒の机から机を少し離している
- 食べ物にいたずらされる
- 笑顔がなく、黙って食べている

◎清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 目の前にゴミを捨てられる
- 一人で離れて掃除をしている
- 掃除をさぼることが多くなる

◎その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 持ち物や机に落書きをされる
- 理由もなく成績が突然下がる
- 衣服が汚れたり髪が乱れたりしている
- 顔や手足にすり傷やあざがある
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごる

いじめている生徒

- 多くのストレスを抱えている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の生徒に裏で指示を出す
- 活発に活動するが他の生徒にきつい言葉を使う
- 金品や物の貸し借りを頻繁に行っている
- 教師が近づくと、急に仲のよいふりをする
- 悪者扱いされていると思い、ムキ、乱暴になる
- 特定の生徒にのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- 他の生徒に対して威嚇する表情をする
- 友だちとの会話の中に差別意識が見られる
- 仲間同士集まり、ひそひそ話をしている
- 教師が近づくと、集団が不自然に分散する

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み	
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	入学前の中学校との 情報交換	個別面談	
		学級づくり		
		地域行事参加		
		職員研修会		
5月	保護者向け啓発		授業公開	
6月	事 案 発 生 時 い じ め 対 策 委 員 会 職 員 会 議	地域行事参加		
7月		人権学習	いじめアンケート① 三者面談	
8月		地域行事参加		
			個別面談	
9月				
10月		地域行事参加		
		ネット犯罪防止講演		
		地域清掃		
11月		地域行事参加	授業公開	
		人権学習		
12月			カウンセリング研修	いじめアンケート②
			地域清掃	三者面談
1月			個別面談	
2月				
3月	いじめ対応チーム 本年度のまとめ	地域清掃	いじめアンケート③	

職員会議等

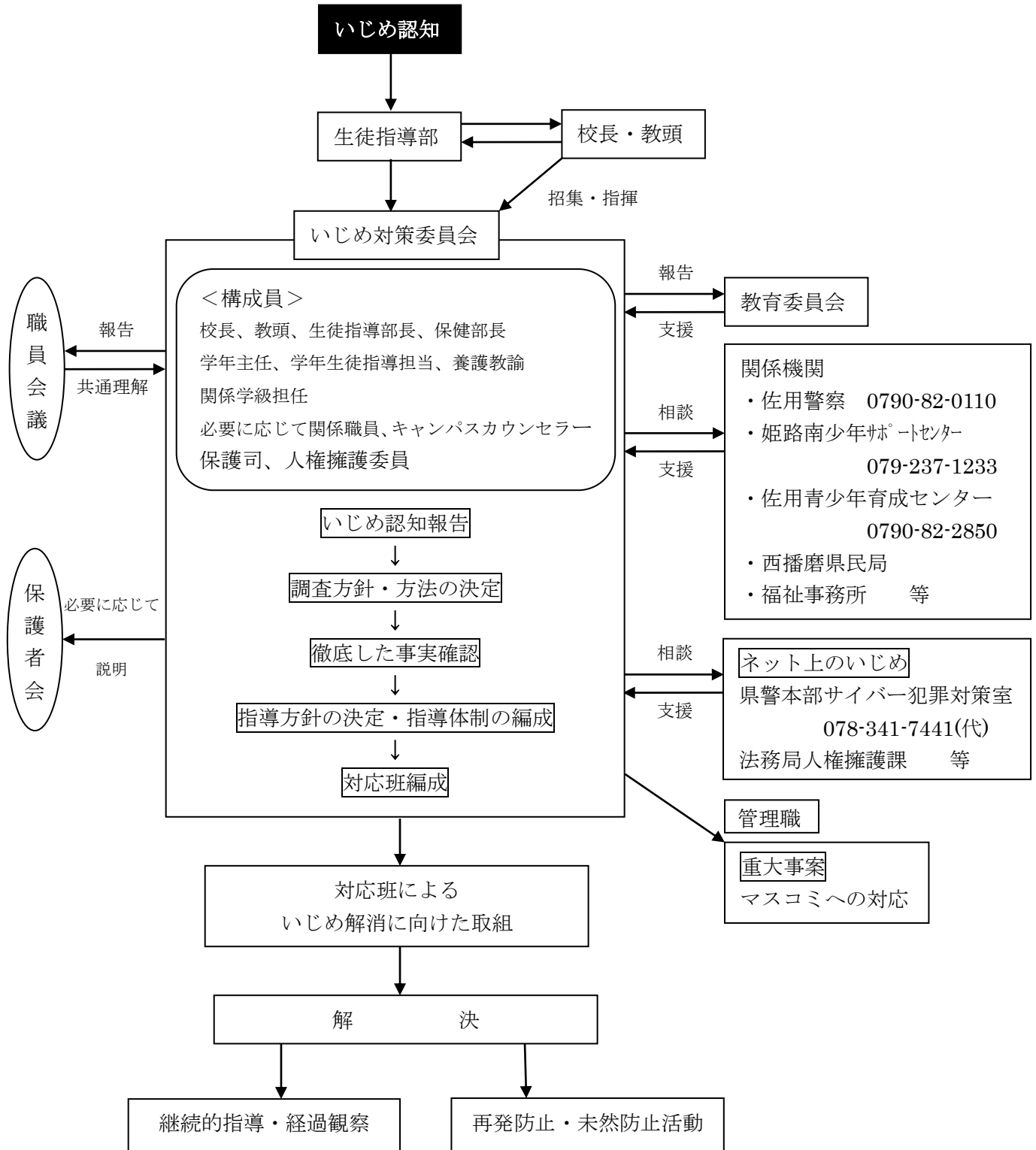
- ・いじめ対応チームは、週一度の生徒指導専任部会、月一度の生徒指導部会、定期的に行われる生徒支援委員会により情報交換をし、要配慮生徒の観察などについて会議をする。

未然防止に向けた取り組み

- ・入学前に中学校との情報交換をする。
- ・いじめを許さない学校づくりを進める。
- ・毎日、登下校時の通学指導を実施する。
- ・定期的に列車乗車指導を実施する。
- ・毎日、昼休みの巡回指導を実施する。
- ・東日本大震災ボランティア活動に参加する。
- ・地域行事は、さくらまつり、佐用町大収穫祭、佐用町文化祭、オータムフェスタなどにボランティアで参加し、社会性の育成を図っている。

早期発見に向けた取り組み

- ・いじめアンケートは年に3回実施。
- ・各教科担当、担任との情報交換。



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
- ・ いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
- ・ 必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。